

文化的多様性を尊重する社会の構築を目指した、社会調査を基軸とする研究の助成

# 研究助成

## 本事業の趣旨

先端社会研究所が取り組む「大学院教育支援事業」の一環として、全研究科大学院生・研究員を対象に、本研究所の「文化的多様性を尊重する社会の構築を目指した、社会調査を基軸とした研究の拠点」という目標を理解し、将来それらに貢献することが期待される「優れた先端的な研究」を募集する。採択者（個人、もしくは数名のグループ）に対しては、一定額の研究助成を行い、当該研究のより一層の発展を支援し、研究者の養成を図る。

## 応募期間

2019年5月7日（火）～5月27日（月）15：00（時間厳守）

## 応募者資格

2019年度の時点における関西学院大学各研究科所属の大学院生ならびに大学院研究員・研究科研究員

## 助成内容と採択件数

1件につき20万円を上限とする。採択件数は、2019年度予算枠80万円の範囲内で決定する。

※なお、本制度による助成は、主として調査・研究活動に必要な経費を対象としているため、設備・備品等の購入は原則として認めない。

## 過去の採択テーマ

「スクールソーシャルワーカーにおける外国につながる子どもへの支援と課題」「事故・災害等で大切な家族を突然に亡くした遺族が死者の生きた証を伝承する活動に関する調査」「母国で出産した外国人に対する母子保健研究」「郊外住宅地再編へ向けた拠点性の再考」「死と死別に関する新しい文化としての「遺品整理」と専門業種に関する社会学的研究」「多言語と多民族台湾社会の言語に見る共生の有り方」「宗教的ヘテロトピアをめぐる実践・表象・政治性」「フードツーリズムとその変容」「現代社会における周産期母子と社会的包摂」「「公共」補償の環境社会学的研究」「蔦屋書店における文化的娯楽性と規範的公共性の展開と摩擦」「労働／非労働の二元論を超えて」「ネパールにおける低位カーストおよびエスニック・マイノリティの修学実態に関する研究」「神輿会のフォークロア」「承認に関する意識の測定尺度の作成」他

**募集期間延長**

2019年度 先端社会研究所「大学院教育支援事業」

# リサーチコンペ

1件につき20万円を上限として助成します。

※詳細は先端研ウェブサイトをご覧ください

[https://www.kwansei.ac.jp/i\\_asr/](https://www.kwansei.ac.jp/i_asr/)

